

保育あきた

Vol.69

令和 8 年 8 月 31 日

題字：故 小畑勇二郎 書（秋田県知事）

瓦 版

「時代とともに変化するもの」



秋田県保育協議会
副会長 岸 大助
(広報部担当)

日頃より当協議会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。また、広報誌発行に際し皆様のご協力に感謝申し上げます。年に二度、8月と12月に『保育あきた』瓦版を、年度末には『保育あきた』を発行しております。瓦版8月号では4月からの正副会長会議や常任委員会の活動状況報告や各部の報告、研修や研究大会に参加された先生方の報告や感想などを掲載してまいります。

6月11日に行われました第54回秋田県保育研究大会が大仙市を会場に開催され320名ほどの参加者を得て盛会裏に終わることができました。午前中から始まる1日開催の大会は鹿角大会が最初だと記憶しておりますが、コロナ禍以降、研修はハイブリットでの開催も増え、会議や打ち合わせはリモートで行うことが現在の主流になりつつあり、時代と環境の変化により新しい形が変わってまいりました。今大会も実行委員の皆様、研究大会部の先生、大会に関わったすべての方々が一丸となり大会を終えることができました。ご協力いただいた皆様、大変お忙しい中ありがとうございました。今後もそれぞれ地域に合った新しい大会の形が生まれてくるのではと思っております。

また、今年度も県議会の議員有志による「こども未来会議」の皆様との意見交換を行いました。各市町村に向けた要望活動を行っている地区もあります。少子化は施設の運営や経営に大きなダメージを与え、定員変更だけでは対応しきれない施設がここ数年で増えてくることや、子育て支援拠点の消滅が、いずれ地域の衰退や社会全体に影響を及ぼすこと、また、教育・保育施設が子どもの安全を守り、地域の社会インフラを支える存在として必要であることなど、制度上のお話も踏まえ、未来会議の皆様も熱心にお話を聞いてくださり、大変有意義な会となりました。

広報部では皆様からいただいた原稿について誤字脱字以外はなるべく修正をしないように進めておりますが社会の動きが数日で変わるこの時代の中では難しい場面もあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思ひます。今後ともご意見やご指摘をいただきながら進めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

また、地域や施設などで取り上げてほしい話題や施設での取り組み、教育・保育に限らず皆さんが考える「新しいかたち」などがありましたらぜひ広報部までお知らせください。

第 54 回 秋田県保育研究大会（仙北地区） 参加者からの感想



「研究大会発表を終えて」



能代市第一保育所

保育士 納谷 麻美

保育士 佐藤 望

私たちは「子どもが笑顔になるために ～つながる支援・広がる笑顔の輪～」をテーマに発表させていただきました。無事に発表を終えることができ、ほっと一安心しています。市内唯一の公立保育所として配慮が必要な子どもの入所も多く、様々な関係機関と連携しながら研究に取り組みました。

日々、子どもたちにどんな関わりや支援が必要か、どんな環境の構成をしたら子どもが遊びに夢中になり自己発揮できるかを考え全職員で情報共有をしながら進めていきました。みんなで意見やアイデアを出し合い試行錯誤しながら保育していく中でお互いの信頼関係も強くなり、次第に子どもも保護者も職員も明るい笑顔が見られるようになったと感じています。これまでの研究を通して自園が様々な人に支えられていることを再確認することができました。

今後も関係機関との連携を密にし、一人一人に合った保育、個性を認め合いながら心豊かに成長できる保育ができるよう、さらに質の向上を目指していききたいと思います。

「秋田県保育研究大会」の発表を終えて



石脇北保育園

栄養士 下山 妃香理

食育活動を軸に研究を行うこととなり、給食担当として日頃の食育活動を見直し、保育士とチームとなって情報や思いを共有しながら進めていくことを大切にしてきました。自然の豊かさと地域の人の温か

さにより実施できた様々な食体験は、その時の子どもたちの声や表情から今だからこそ感じられる素直な気持ちや純粋な食への興味につながったことが分かり、かけがえのない体験になったと思います。私自身も新たな視点から「食」について改めて考え、勉強する機会をいただき感謝しています。子どもたち自ら「やってみたい」「こうしたらどうかな？」と考え悩む姿や、自信をもって下のクラスの子どもに教える姿から、活動が食についての学びだけではなく、子どもたちの心の成長になることを実感しました。保護者に向けての発信では、そのことが全体に届いているのかという情報格差についても評価いただき、今後の課題も見えてきました。

将来、子どもたちが「保育園でこんなことやったな」と思い出し、「食べること＝生きる力」について考えるきっかけになるよう、職種を超え園全体、さらに法人全体で手を取り合いながら学びにつながる食育・食体験を今後も模索し続けたいと思います。



「秋田県保育研究大会」を終えて

下鍋倉保育所

保育士 植村 和香子

保育研究大会という大舞台を無事に終え、ほっとしているところです。私たちが発表した第4分科会①には、たくさんの方々が参加されており、今までに経験したことのない緊張を感じていましたが、これまで私たちが園全体で取り組み、試行錯誤し、完成させた研究を皆さんに届けたいという気持ちで、堂々と発表しました。終えた瞬間の達成感は何にも代え難いものでした。

「みんなイキイキ・ステップアップ」～その子らしさを支えるチーム保育の展開～をテーマに据えて研究を進める中で『その子らしさ』を認め支えるためには、担任の願いを中心に、クラス間やフリー保育士と連携し園全体が一つの“チーム”となって保育をしたいという共通の思いがうまれました。そして、いい人間関係はいいチーム保育を作り出すことにつながっていくことを実感しています。新たな課題に向かい、助言者の先生からいただいたアドバイスを励みに子どもと保育者の『共主体』を考え今後も研修していきたいと思っています。



「研究発表を終えて」

おがちこども園

保育教諭 前田 睦美

研究大会での発表をするにあたり、何をどのように進めたらいいのか不安ばかりがありましたが、継続して園内研修を行ってきた子どもの主体性について研究を深め「やってみたい！やってみよう！自分

らしさを発揮するために」をテーマに掲げて取り組むことにしました。職員一人一人の言葉の捉え方、目指す方向性の違いを曖昧なままにせずしっかりと擦り合わせをしてきたことは、決して容易なことではありませんでした。それが、チームとして保育をしていく結束力になったと感じています。さらに、子どもの内面を知ろうとする思いは一人一人のありのままの姿を受け入れて、丁寧な関わり方に変わっていくという実感がありました。

自分自身にとってもこの研究発表に携われたことは、新たな発見や学びを得たとても貴重な経験となりました。これからも子どもたちの笑顔と過ごせる毎日を大切にしていきたいと思います。



「保育研究大会を終えて」

四ツ屋こども園

主任保育教諭 大友 由美子

研究大会で発表するにあたり、一人一人の子どもの声（思い）を聴き、主体性と自己肯定感を高めるための「チーム四ツ屋こども園」を目指してテーマに進めていきました。職員同士が認め合う関係性の中やりがいを感じながら保育することで、子どもの姿や声、思いを肯定的に受け止めて関わることができ、子どもたちの安心感や意欲・自信につながっていきました。また、0歳児から5歳児までの育ちのつながりを意識し、共通理解を図りながら保育することの大切さを改めて実感できました。この研究を通して子どもの姿の変容も明らかなものとなり、職員同士の支え合う関係性が構築され四ツ屋こども園のチーム力がより強固なものになりました。

今後もさらなるチーム力の向上を図りながら、家庭・地域と共に子どもたちの育ちを支えていきたいと思っています。



「保育研究発表を終えて」

第一ルンビニ園

主任保育士 伊藤 真理子

今回の保育研究発表では、以前から取り組んできた「気になる子どもと保護者に対する支援」をテーマに園内研修、外部の講師や専門機関との連携などを深めながら進めていきました。研究発表に向けて園全体で一つのテーマに向かって研修を重ね、職員一人一人の意識向上にもつながり何より一人一人の子どもの大切にし、丁寧に関わることであらためて子どもが抱えている困りごとに気付き寄り添うことができ、同様に保護者の気持ちに寄り添い共感しながら子どもの成長を共に見守ることができました。

幼保小の接続という点では、まだまだ課題も多くあり、今後も連携して子どもの育ちを継続していける

ような取り組みを図っていきたいです。他園の発表を聞き研究の方法や様々な取り組みなどとても勉強になりました。自園でも活用できるものがあれば実践したいと思いました。また、助言者の先生からの質問や意見もとても参考になり、園内にある委員会で引き続き今回の発表で得たことを活かして取り組んでいきたいです。この発表を通じて、とても貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。本当にありがとうございました。あらためて子どもたち一人一人と向き合える保育者という素晴らしい仕事を誇りに思います。

北海道・東北ブロック保育研究大会 参加者からの感想

「北海道・東北ブロック保育研究大会選考発表を終えて」



鳥海保育園

副主任保育士 村山 さち

保育士 原田 みのり

今回の研究では「一人一人の育ちを一緒に支えるために～地域や関係機関と共に～」をテーマに掲げました。各関係機関の協力を得ながら、保護者とより良い関係を築き、一人一人の子どもに寄り添った援助や関わりができるよう研究を重ねてきました。小規模園で職員数も少なく、日々の保育や園行事の準備、さらには自身が子育て中ということもあり、資料やパワーポイントの作成時間の確保、また表現力の乏しさに、園内はもちろん法人内の職員にアドバイスをいただきながら限られた時間の中で取り組んできました。

研究を進めていく中で各関係機関と連携がさらに深まり、情報を共有し合うことで子どもたちが過ごしやすい環境をつくることができました。また、職員の連携の取り方を見つめ直すきっかけにもなり、現在では家庭との連携も含めて、非常に良い環境が構築されていると感じています。

今回の発表に際しては、聖霊女子短期大学の野内教授、会津大学短期大学部の五十嵐准教授に助言をいただきました。その結果、自分たちにとって当たり前になっている取り組みが、地域とのつながりが太いからこそその強みであることを再認識することができました。少子化に伴い園児数や家庭数が減少する中、保護者に協力を依頼する機会が増えてきているのが現状です。しかし、散歩の際に地域の方にお会いしたり、近所の老人施設を訪問したりといった、日々の何気ない関わりを通じて交流を深め、困ったときには助け合える「Win-Win の関係」を築くことは今後さらに重要になると感じています。この地域ならではの温かい関係性を大切にしながら、今以上に子どもたちにとって過ごしやすい環境、そして職員にとって働きやすい環境を目指し、今後の保育と研究を継続していきたいと思っています。

秋田県保育研究大会 選考結果

第1分科会：「子どもの心もちを大切にした環境の構成」

○北秋田市 あいかわ保育園

第3分科会：「一人一人の育ちを一緒に支えるために」

○由利本荘市 鳥海保育園

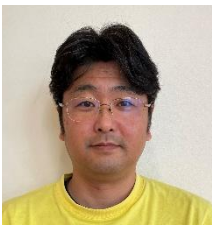
第4分科会：「やってみたいをやってみよう！とことん遊ぶ子ども」

○大館市 有浦保育園

以上の施設が次の北海道・東北ブロック保育研究大会に選出され、7月22、23日に開催されました第74回「北海道・東北ブロック保育研究大会」（福島県郡山市）で発表されました。

◆秋田県の代表としての研究発表 大変お疲れ様でした！◆

各研修会 参加者からの感想



「保育の質を高める研修会」を終えて

しゃろーむ

副園長 藤嶋 匡祥

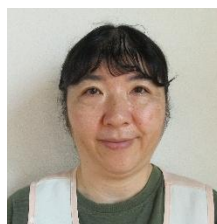
インクルーシブ教育・保育の考え方に触れ配慮を必要とする子どもに対して「どう対応するか」だけではなく、保育士自身の関わり方や合理的な配慮を心がけ再構成していくことが重要で「行動上の問題がなくなり集団適応することが支援であり、その集団適応が成長であるとは限らない」という内容が印象に残っています。

傾聴、理解、共感することの重要性、保護者の思いや悩みに対してつい知識や自分の価値観を伝えようとしてしまいがちですが、まずは相手の気持ちを受け止め理解しようとする姿勢が大切だと再認識し、特に「正そうとする前にわかろうとする気持ちが大切」という荒川氏の言葉が心に残りました。保護者の言葉の背景や気持ちに寄り添いながら安心して話せる関係づくりを心がけていくことと、一方的な支援ではなく保護者と共に子どもの育ちを考えていくような関係性を今後も継続して大切にしていきます。

情勢報告や講演の内容を通して、昨今の人口減少や社会情勢の変化に伴い今後「選ばれる園」としてどのような役割を担っていくべきかを考える機会となりました。また、保育だけにとどまらず高齢者や障害者施設など地域とのつながりを広げ、多様な世代や立場の人が関わり合える場としての需要を見出し担っていくことの重要性を学びました。

今後も地域に開かれ必要とされる園であり続けるために、自分自身の視野を広げていかなければいけないのだと改めて感じると同時に、管理職のみならず現場職員が社会情勢に触れることができ、大変有意義なものとなりました。

「保育の質を高める研修会」に参加して



みわこども園

保育教諭 高橋 耕子

「多様な子どもの理解と保育」の講演を聞き、子どもを中心におき平等に生活できるための環境や方法を工夫していくことが大切だと再認識しました。

今まではやってほしいこと、活動内容などを可視化することが合理的配慮につながると考え、片付ける場所が分かるように写真を掲示したりクールダウンの場所をつくったりするなどの対応をしてきました。また、保護者の要望やこんなものがあればみんなと一緒に活動できるのではないかという保育者の思いが先に立っていた部分が大きかったと思います。本当にこの援助を子どもが必要としているか、自分で選べる環境が整っていたかなどの見直しが足りなかったと反省しました。自分で選択できるような環境づくりや言葉かけが必要になってくると気づきました。

なかなか思いを言葉にできない子どももあり、意思確認が難しい部分もありますが、できることに目を向けながらそれをヒントにして子どもが生活しやすいような環境づくりを行っていきたいと思いました。

常任委員会並びに各部会報告

令和 8 年度 第 1 回常任委員会報告

令和 8 年 6 月 24 日(水) 13 : 30～16 : 30 場所 : WEB 開催

【参加者】

会長、副会長、各部長、中央関連委員、事務局

【協議事項】

(1) 令和 8 年度事業について

- ・総務部（共創プロジェクト）
- ・広報部
- ・研修部
- ・研究大会部
- ・運営研究部（公定価格検討委員会）
- ・青年部
- ・日本保育協会（女性部・青年部）
- ・全国私立保育連盟（予対・青年会議）

(2) 災害互助制度・地域交流助成事業の進捗確認及び審査

【総括】

各部から令和 8 年度の活動報告が行われ進捗、課題について共有した。

また、出向組織による予算要望の状況や利用定員の年度途中変更に関する市町村間の対応格差、会費の公立・民間間の格差是正など、複数の重要課題が共有され意見交換を行った。

次回、対面での常任委員会開催の方向性も確認された。

総 務 部

【実施した部会】

○第 1 回 日時 : 令和 8 年 4 月 6 日（月）13 : 30～15 : 20

場所：WE B 開催

内容：総会運営方法・役割分担について

令和8年度事業方針の確認及び部会開催スケジュール

情報共有体制について

○第2回（令和8年度総会内）

日時：令和8年4月24日（金）14：00～16：00

会場：WE B 開催

内容：（1）総会の運営

（2）各自担当の説明

【今後の部会予定】

○第3回 日時：令和8年9月

場所：WE B 開催

内容：規程改正の検討・予算執行状況の確認等

共創プロジェクト

【実施した部会・事業】

○第1回 日時：令和8年5月18日（月）10：00～12：00

会場：WE B 開催

内容：令和8年度事業計画について（全体予算・各連携事業）

秋田県保育協議会・県内保育者養成校連携事業

県保育協議会・日本郵便・秋田県警 こどもの見守り三者連携協議会

○養成校連携事業

「園内研修支援」1回目公募期間：3月26日～4月4日

2回目公募期間：4月22日～5月9日

「園内研修支援」のニーズ調査（県保協総務部・研修部へ）

期間：令和8年5月11日～5月15日

○第2回（秋田県保育協議会・県内保育者養成校 第3回連携協議会 内）

日時：令和8年6月2日（火）13：00～15：00

会場：WE B 開催

内容：「保育研究発表の展開」・「園長シンポジウム」・「園内研修支援」

○養成校連携事業

「保育研究発表の展開」

保育スキルアップ講座～現場の保育研究を学ぶ～保育研究大会の発表

日時：令和8年7月17日（金）13：30～15：00

場所：聖園学園短期大学マリアホール

内容：2年生66名への秋田県保育研究大会 研究発表の披露

第1分科会：社会福祉法人秋田県民生協会 あいかわ保育園

第4分科会：大館市立 有浦保育園

「園長シンポジウム」

日時：令和8年7月31日（金）13：30～15：00

場所：聖園学園短期大学マリアホール

【今後の部会・事業】

「保育研究発表の展開」

日時：令和8年度内

場所：聖霊女子短期大学

内容：秋田県保育研究大会 研究発表の披露

第3分科会：社会福祉法人由利本荘保育会 鳥海保育園

「園内研修支援」

日時：令和8年度内

県保育協議会・日本郵便・秋田県警 こどもの見守り三者連携協議会

日時：令和8年度内定期協議会の開催

○第3回 日時：令和8年8～9月及び随時

場所：WEB・情報共有ツール

内容：上記事業実施に向けた協議

【部からのメッセージ】

体制2年目の総務部となります。今年度も組織方針が円満に遂行されることはもちろんのこと、組織として適切な在り方の実現に向けた提案など、部員一丸となって務めてまいります。

また、今年度からは共創プロジェクトが総務部付けの予算編成となりました。会員の皆様にとって有益な事業を他組織と創造してまいります。当部への引き続きご理解ご協力よろしくお願いいたします。

（横手市 明照保育園）

総務部長 津村 侑弥

県保協HPから各申請書がダウンロードができます！
～詳細は総会資料かホームページをご覧ください～

災害互助制度について

会員園がお互いに助け合いの精神によって災害互助制度を設け、保育活動の充実に寄与することを目的としています。園内外の保育活動中はもちろんのこと、園児の登降園中や職員の通勤途中の事故に対し、被災者にお見舞金を給付する制度です。

死亡見舞金請求は死亡後1ヶ月以内、傷害治療見舞金請求は治療完了後1ヶ月以内、自然災害見舞金請求は災害発生後1ヶ月以内か災害復旧後1ヶ月以内となっております。

(基本1ヶ月以内)

これからも皆さまにとって活用しやすい制度を目指してまいりますので、お気づきの点がありましたら事務局までお寄せください。

地域交流助成事業について

会員園同士が個々の活動を超え、2か所以上の施設が連携して行う保育活動、近隣に交流する保育施設が無い場合であって、会員施設が単独で地域との交流を図るための事業に対し助成するものです。R7年度より資料申請書に以下の項目を設けましたのでご確認願います。①地域内での教育・保育施設の存在や活動をアピール ②地域との交流（他施設や世代間交流を含む）③幼保小の接続の観点から、同じ小学校に就学する園児の交流を対象とします。申請は事業開始1ヶ月前まで、報告は助成事業完了後1ヶ月以内に本会長あてに提出してください。事業完了後1ヶ月以内に年度末となる場合は、3月20日までの提出となります

災害互助・地域交流活用状況 (R8.7.22更新)

災害互助制度

傷害治療見舞金・・・5件

7級—1件（R7分）9級—4件

自然災害見舞金・・・0件

地域交流事業・・・3件

研 修 部

【実施した部会】

○第1回 日時：4月21日（火）14：00～14：50

場所：WEB開催

内容：令和8年度の年間計画・役割分担について

保育の質を高める研修会について

その他

○第2回 日時：5月14日（木）16：30～17：30

場所：秋田キャッスルホテル

内容：「保育の質を高める研修会①」について

共創プロジェクトについて

その他

○第3回 日時：令和8年7月9日（木）13：30～16：00

場所：保育協議会 会議室・WEB 併用

内容：保育士等研修会①について

保育士等研修会②について

第29回「保育カウンセリングセミナー」の内容について

その他

○第4回 日時：令和8年7月21日（火）16：00～18：00

場所：保育協議会 会議室

内容：保育士等研修会①反省・課題

保育士等研修会②について

第29回「保育カウンセリングセミナー」について

その他

○第5回 日時：令和8年8月7日（金）16：00～18：00

場所：保育協議会 会議室

内容：保育士等研修会②反省・課題

第29回「保育カウンセリングセミナー」反省・課題

保育士等研修会③について

その他

【今後の部会予定】

○第6回 日時：令和8年9月17日（木）16：00～

場所：保育協議会 会議室

内容：第29回「保育カウンセリングセミナー」反省・課題

保育士等研修会③について

その他

○第7回 日時：令和8年11月9日（月）16：00～

場所：保育協議会 会議室

内容：保育士等研修会③反省・課題

令和9年度の研修会について
その他

- 第8回 日時：令和9年2月中旬 13：30～
場所：WEB開催
内容：今年度の反省
令和9年度の研修会について（講師・内容等）
その他

【部からのメッセージ】

令和8年度、新部員2名が加わりました。
昨年度のアンケート結果から新たな研修を実施しています。
皆さんの保育の質の向上に力を添えられるよう努めて参りますので、今後とも研修部の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

（由利本荘市 石脇西保育園）
研修部長 能元 こずえ

研 究 大 会 部

【実施した部会】

- 第1回 日時：4月28日（火）13：30～15：40
場所：WEB開催
・第54回秋田県保育研究大会について ・保育研究大会発表施設数についての検討
・今後のスケジュールの確認
- 第2回 日時：5月26日（火）10：00～12：00
場所：保育協議会 会議室
内容：全体会確認事項について ・研究大会当日の流れについて
- 第54回秋田県保育研究大会発表選考のための録画作業
日時：5月8日（金）・12日（火）・13日（水）
場所：WEB開催
- 第54回秋田県保育研究大会打合せ
日時：5月26日（火）13：30～16：30
場所：秋田県社会福祉会館 10階大会議室

○秋田県保育研究大会における

北海道・東北ブロック保育研究大会への発表園選考のための選考委員会

日時：6月19日（金）13：30～15：00

場所：WEB 開催

○第54回秋田県保育研究大会 分科会報告

北海道・東北ブロック保育研究大会への選考結果報告

（※6月23日（火）全施設にメール配信）

日時：7月17日（金）13：30～14：40

場所：WEB 開催

内容：第54回秋田県保育研究大会の成果と課題について

【今後の予定】

○次期開催地（北秋田地区）との引継ぎの会

日時：未定

場所：WEB 開催

内容：令和8年度秋田県保育研究大会について

【部からのメッセージ】

第54回秋田県保育研究大会におきましては、多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。大会の開催にあたり、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

第55回大会は北秋田地区での開催となります。日々の保育でお忙しいことと存じますが、ぜひ多くの皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

（由利本荘市 本荘中央こども園）

研究大会部長 齋藤 奈緒美

運 営 研 究 部

【実施した部会】

○第1回 日時：6月1日（月）13：30～15：00

場所：WEB 開催

内容：調査結果報告について

○第2回 日時：6月16日（火）13：00～15：00

場所：WEB 開催

内容：今後の事業について

調査結果報告について

○第3回 日時：6月30日（火）10：30～12：00

場所：WEB 開催

内容：運営研究部の在り方について
調査結果報告書について

○第4回 日時：7月6日（月）14：00～17：00

場所：保育協議会 会議室

内容：運営研究部の在り方について
アンケート調査の見直しについて

【今後の部会予定】

○第5回 日時：9月中

場所：WEB 開催

内容：調査結果報告書について
園長セミナーについて

公定価格検討委員会

【実施した部会】

○第1回 日時：6月9日（火）15：30～17：00

場所：WEB 開催

内容：調査結果報告について

【今後の部会予定】

○第2回 日時：9月2日（水）15：30～

場所：WEB 開催

内容：公定価格勉強会の事前準備

【部からのメッセージ】

日頃より運営研究部の活動に対し、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

昨年度末のお忙しい中、ご協力いただき実施した調査につきましては、現在、部内で取りまとめており、でき次第ご報告いたします。また、7月末に実施したカリキュラムの情報提供につきましても多くのデータをいただきありがとうございました。

今後の事業としましては園長セミナーを計画しておりますのでよろしくお願いいたします。

（にかほ市 ひまわり保育園）
運営研究部長 吉川 誠治

広報部

【実施した部会】

○第1回 日時：6月30日（火）13：30～15：00
場所：WEB開催
内容：今年度の事業（年間計画）について
『保育あきた』瓦版の内容について
役割分担について
その他

○第2回 日時：7月30日（木）13：30～17：00
場所：保育協議会 会議室
内容：瓦版の校正作業
発行までのスケジュールについて

○全私保連 署名活動作業（民間広報部員）
日時：8月4日（火）12：30～16：00
場所：保育協議会 会議室
内容：署名活動の発送作業

【今後の部会予定】

○第3回 日時：10月上旬
場所：WEB開催
内容：瓦版（12月）発行について
内容と役割分担について

【部からのメッセージ】

今年度1回目の『保育あきた』瓦版を発行いたします。ぜひとも職員の皆様にもご覧になっていただければ幸いです。

今後も会員園の皆様にとって有意義な情報発信となるよう部員一同頑張ってまいりますので、広報部活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（由利本荘市 子吉保育園）
広報部長 川嶋 博英

青 年 部

【実施した部会】

- 第 1 回 日時：6 月 11 日（木）15：45～17：00
場所：大仙市大曲交流センター1 階 中研修室
（第 54 回秋田県保育研究大会終了後に開催）
内容：令和 8 年度の事業について等

【今後の予定】

- 青年部主催研修会①
日時：9 月 18 日（金）13：00～16：00
場所：秋田市内（中央シルバーエリア／秋田テルサ）
70 名程度の参加を想定
内容：保育における AI 活用について
（講師：秋田クラーク高等学院 高崎 翔太 氏）
- 青年部主催研修会②
日時：11 月 16 日（月）か 17 日（火）
場所：遊学舎 会議室（予定） 30 名程度の参加を想定
内容：Google フォームの活用
（青年部員が講師となってワークショップ型の研修を開催予定）

【部からのメッセージ】

総会の際にご承認いただきましたとおり、今年度は「AI ならびに ICT・DX に関する研修会」を 2 本立てで企画・開催いたします。

「何となく知ってはいるけど…」「便利なのは分かっているけど…」“初めの一步”を踏み出せずに躊躇している方や、AI や ICT・DX を使い始めようとしている方を後押しするべく、今後の保育業務に活用できる内容となっております。

保育業界にも確実に大きな波として押し寄せてきている以上、「できる人・分かる人がやればいい」ものでは決してありません！ぜひとも興味・関心を持っていただき、会員の皆さまからのご参加を心よりお待ちしております。

（横手市 旭保育園）
青年部長 伊藤 昌人

令和 7・8 年度 秋田県保育協議会 役員名簿

秋田県保育協議会 役員 (令和7・8年度)

顧 問	岸 登 (社会福祉法人 広済会) 伊藤彦舟 (えみの森) 今野貞保 (明星こども園)
会 長	大 友 潤 一 (やまばと保育園)
副 会 長	阿 部 清 美 (八幡平なかよしセンター) 九 嶋 洋 子 (轟 保 育 園) 上 村 清 正 (あおぞらなないろ園) 高 橋 大 成 (沼 館 保 育 園) 岸 大 助 (湯 沢 こども園) 長 浜 中 (大 潟 こども園) 伊 藤 育 子 (おがちこども園)
監 事	藤 井 み は と (本 荘 中 央 こども園) 利 部 葉 子 (寺 内 保 育 所)

事 務 局	鈴木文子・矢作理紗 (保協／庶務・会計) 今野利歌子 (保育士会／庶務・会計)
-------	---

中央組織	全国保育協議会	顧 問	岸 登 (社会福祉法人 広 済 会)
		協 議 員	大 友 潤 一 (やまばと保育園) 民
			長 浜 中 (大 潟 こども園) 公
			伊 藤 育 子 (おがちこども園) 保育士会
	日本保育協会 秋 田 県 支 部	支 部 長	上 村 清 吾 (あ お ぞ ら 幼保連携型認定こども園)
		過疎地域 保育対策委員	九 嶋 洋 子 (轟 保 育 園)
		青年部長	伊 藤 昌 人 (旭 保 育 園)
		青年副部長	吉 川 壮 (口の出ベビー保育園)
		女性部長	相 場 美 佐 子 (大 野 保 育 園)
		女性副部長	猪 股 和 子 (石 沢 保 育 園)
	全国私立保育連盟	支部長・財務部長	岸 大 助 (湯 沢 こども園)
		顧 問	伊 藤 彦 舟 (え み の 森)
		調 査 部	津 村 侑 弥 (明 照 保 育 園)
		予算対策会議 副 議 長	上 村 清 正 (あおぞらなないろ園)
	全国私立保育連盟 秋 田 県 支 部	予 対 部 長	高 橋 大 成 (沼 館 保 育 園)
		予 対 部 員	吉 川 誠 治 (ひまわり保育園)
		青年部長	伊 藤 隆 将 (ときわベビー&キッズ)
		青年副部長	島 山 尚 宏 (さんない保育園)

秋田県保育協議会 常任委員

(令和8年度)

会 長	大 友 潤 一 (やまばと 保 育 園)
副 会 長	阿 部 清 美 (八 幡 平 なかよしセンター) 九 嶋 洋 子 (轟 保 育 園) 上 村 清 正 (あおぞらなないろ園) 高 橋 大 成 (沼 館 保 育 園) 岸 大 助 (湯 沢 こども園) 長 浜 中 (大 潟 こども園) 伊 藤 育 子 (おがちこども園)
総 務 部 長	津 村 佑 弥 (明 照 保 育 園)
広 報 部 長	川 嶋 博 英 (予 古 保 育 園)
研 修 部 長	能 元 こ ず え (石 脇 西 保 育 園)
研 究 大 会 部 長	齋 藤 奈 緒 美 (本 荘 中 央 こども園)
運 営 研 究 部 長	吉 川 誠 治 (ひまわり保 育 園)
青 年 部 長	伊 藤 昌 人 (旭 保 育 園)
日本保育協会:支部長	上 村 清 吾 (あ お ぞ ら 幼保連携型認定こども園)
女性部長	相 場 美 佐 子 (大 野 保 育 園)
青年部長	伊 藤 昌 人 (旭 保 育 園)
全国私立保育連盟:支部長	岸 大 助 (湯 沢 こども園)
予対部長	高 橋 大 成 (沼 館 保 育 園)
青年部長	伊 藤 隆 将 (と き わ ベ ビー & キ ャ ッ ス)

秋田県保育協議会 協議員

(令和8年度)

会 長	大 友 潤 一 (やまばと 保 育 園)
副 会 長	阿 部 清 美 (八 幡 平 なかよしセンター) 九 嶋 洋 子 (轟 保 育 園) 上 村 清 正 (あおぞらなないろ園) 高 橋 大 成 (沼 館 保 育 園) 岸 大 助 (湯 沢 こども園) 長 浜 中 (大 潟 こども園) 伊 藤 育 子 (おがちこども園)
鹿 角 地 区	吉 田 正 恵 (あおぞらこども園) 公 立
北 秋 田 地 区	本 多 美 代 (大 館 乳 児 保 育 園) 民 間
山 本 地 区	高 橋 さ お り (能 代 市 第 一 保 育 所) 公 立
南 秋 田 地 区	太 田 真 樹 美 (船 川 こども園) 公 立
秋 田 市	上 村 清 正 (あおぞらなないろ園) 民 間
由 利 地 区	齋 藤 晴 美 (亀 田 保 育 園) 民 間
仙 北 地 区	高 橋 朝 子 (大 曲 駅 前 こども園) 民 間
横 手 地 区	遠 山 一 栄 (み い り の 保 育 園) 民 間
湯 沢 地 区	茂 木 節 子 (た し ろ こども園) 民 間

専 門 部 員 名 簿

令和8年度

◎は長、○は副

部会	主 な 活 動	部 員
総務部 8名	★ 会則・規程の情報発信および内容検討 ★ 制度の改廃及び地域交流事業の活用推進 ★ 予算の執行状況の把握、各部会の活動に向けての支援 ★ 総会開催の準備 《担当副会長・阿部 清美》	茶 谷 洋 恵（たしる保育園）大館市公 吉村美奈子（第一ルンビニ園）秋田市民 ○菅 原 雅 文（かんば認定こども園）秋田市民 佐々木真貴子（本 荘 保 育 園）由利本荘市民 佐 藤 ル ミ 子（大曲南保育園）大仙市民 ◎津 村 侑 弥（明 照 保 育 園）横手市民 伊 藤 昌 人（旭 保 育 園）横手市民
	● 共創プロジェクト ★ 県内郵便局・秋田県営・秋田県保育協議会 こどもの見やり三者連携協議会の実施 ★ 秋田県保育協議会・秋田県内保育者養成校連携協議会の実施 ★ 上記実施に向けた協議の継続開催	大 友 潤 一（やまばと保育園）秋田市民 川 嶋 博 英（子 吉 保 育 園）由利本荘市民 岸 大 助（湯 沢 こども 園）湯沢市民 伊 藤 昌 人（旭 保 育 園）横手市民 阿 部 清 美（八幡平なかよしセンター）横手市民 畠 山 尚 宏（さんない保育園）横手市民 ◎津 村 侑 弥（明 照 保 育 園）横手市民 菅 原 雅 文（かんば認定こども園）秋田市民 鈴 木 文 子（事 務 局）
広報部 9名	★ 年2回の『保育あきた』瓦版・『保育あきた』の発行 ★ 必要に応じ、組織内や関係機関との連携を図り情報を提供 《担当副会長・岸 大助》	加 藤 優 大（藤 里 保 育 園）藤里町公 ○大 門 ヒ サ 子（こどものくに保育園）秋田市民 ○佐 川 ひ と み（ あ お ぞ ら 幼保連携型認定こども園）秋田市民 ◎川 嶋 博 英（子 吉 保 育 園）由利本荘市民 鈴 木 直 子（だ し の こ 園）仙北市民 大 澤 陽 子（千畑なかよし園）美郷町公 南 部 芳 道（金 沢 保 育 園）横手市民 鈴 木 ま ゆ み（みわこども園）羽後町民
研修部 10名	★ 保育士等研修会（1～3） ★ 保育カウンセリングセミナー ★ 保育の質を高める研修会（北海道・東北ブロック保育協議会指導者セミナー） 《担当副会長・九嶋 洋子》	佐々木美佐子（上北手保育園）秋田市民 ○駒 野 谷 範 子（わかこま第一保育園）秋田市民 田 松 玲 子（ナーサリーふじ）秋田市民 佐 藤 美 生 子（かわぐち保育園）秋田市民 佐 藤 麗 子（河 辺 保 育 所）秋田市公 ◎能 元 こ ず え（石 脇 西 保 育 園）由利本荘市民 堀 内 朋 子（大曲東保育園）大仙市民 戸 部 珠 枝（下 鍋 倉 保 育 所）横手市民 沼 倉 幸 子（お が ち こども 園）湯沢市民
研究大会部 10名	★ 第54回秋田県保育研究大会 《担当副会長・長浜 中》 《担当副会長・伊藤 育子》	山 谷 寿 代（花輪にこにこ保育園）鹿角市公 ○庄 司 友 美（し ゃ ろ ー む）北秋田市民 畠 山 結 華 子（琴 丘 保 育 園）三種町公 ◎齋 藤 奈 緒 美（本荘中央こども園）由利本荘市民 齋 藤 久 美 子（ひまわり保育園）にかほ市民 須 田 恭 子（大曲駅前こども園）大仙市民 ○大 石 久 美 子（ますだ保育園）横手市民 恩 田 美 加 子（お が ち こども 園）湯沢市民
運営研究部 7名	★ その時に求められる内容のアンケート調査 ★ その時に求められる内容のアンケート調査 《担当副会長・高橋 大成》	○北 嶋 雄 介（八郎潟たいようこども園）八郎潟町民 相 場 美 佐 子（大 野 保 育 園）秋田市民 上 村 清 吾（ あ お ぞ ら 幼保連携型認定こども園）秋田市民 福 田 恵 嗣（こひつじ保育園）秋田市民 ◎吉 川 誠 治（ひまわり保育園）にかほ市民 橋 本 由 紀 子（角 館 こども 園）仙北市民
	● 公定価格検討委員会 ★ 年3回の委員会を計画 ★ 9月上旬 勉強会の予定	北 嶋 雄 介（八郎潟たいようこども園）八郎潟町民 福 田 恵 嗣（こひつじ保育園）秋田市民 吉 川 社（日の出ベビー保育園）大仙市民 奥 山 浩 太（浅舞感恩講保育園）横手市民 畠 山 尚 宏（さんない保育園）横手市民
青年部 7名	★ 青年部研修会の企画および実施 ★ 他部との連携の推進 ★ 青年部および県組織の魅力および情報の発信 ★ 人材発掘および部員確保のための継続的な取り組み ★ 全国組織（全保協、日保協、全私保連）の活動への参加 《担当副会長・上村 清正》	吉 川 社（日の出ベビー保育園）横手市民 津 村 侑 弥（明 照 保 育 園）横手市民 ◎伊 藤 昌 人（旭 保 育 園）横手市民 奥 山 浩 太（浅舞感恩講保育園）横手市民 ○伊 藤 隆 将（ときわベビー&キッズ）横手市民 畠 山 尚 宏（さんない保育園）横手市民

編集後記

朝晩、だいぶ過ごしやすくなり夜にはきれいな虫の声が聞こえてきて、夏から秋へ季節が移り変わっていることを感じています。8月は天気が良くても WBGT（暑さ指数）が高く、我が園では思うようにプール遊びができず残念でしたが、その代わりに今年度、広場に大型エアコン2台が設置されたので、子ども達は涼しい場所で異年齢交流しながら存分に身体を動かして遊ぶことができました。これからは夏の疲れが出やすくなるので、子ども達はもちろん、職員の体調管理にも気をつけながら過ごしていきたいと思っています。

（食欲の秋になりますが、皆さん食べ過ぎには注意しましょうね）

最後になりましたが「保育あきた瓦版第69号」発行にあたり、日々の業務が忙しい中寄稿していただきましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(M・S)

広報部

担当副会長	岸 大 助	(湯沢市 湯沢こども園)
部 長	川 嶋 博 英	(由利本荘市 子吉保育園)
副部長	佐 川 ひ と み	(秋田市 幼保連携型認定こども園 ふじ)
”	大 門 ヒ サ 子	(秋田市 こどものくに保育園)
部 員	南 部 芳 道	(横手市 金沢保育園)
”	鈴 木 直 子	(仙北市 だしこの園)
”	加 藤 優 大	(藤里町 藤里保育園)
”	大 澤 陽 子	(美郷町 千畑なかよし園)
”	鈴 木 ま ゆ み	(羽後町 みわこども園)

〔全私保連推奨〕 各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人
全国私立保育連盟



東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」
「職員団体傷害保険（総合生活保険）」など、保育施設における最大
リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費
用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人
への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一
の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品
と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

24時間のおケガ等からお守りすることに加え、学校からの貸出タブレットを
含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的
な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL : 03-3865-3881

FAX : 03-3865-2806



引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL : 03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険・学校契約団体傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約保険適用）・費用（私営保険）・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（児童保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定／東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881

FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階



保育・子ども施設と保護者の連絡アプリ

きっずノート

全国私立
保育連盟
推薦

連絡機能特化アプリ きっずノート

ここがすごい！

きっずノートの詳細は
ここからチェック！

きっずノート



Instagram
@kidsnote.jp_ict



YouTube
@kidsnotejp



POINT1

写真・動画
配信
無制限

POINT2

シンプル費用設計
人数制限・オプション料金
一切なし
月額 5,500円 税込

POINT3

130カ国以上の
言語対応
翻訳機能